

令和4年度 特許情報提供サービスの現状と今後に関する調査 「経営に資する特許情報に関するアンケート（民間事業者用）」

● 本調査の目的

近年、デジタル技術の進展とともに、IP ランドスケープや知財の価値分析といった用語で象徴される特許情報¹の経営への活用に関する取組が活発化しつつあります。

本調査の第一の目的は、このような流れの中で、特許情報の分析ツール機能や分析サービスメニューに大きな変化や進化はあるのか、分析ツールやサービスの利用はどの程度増えているのか、といった実態の把握です。第二の目的は、現在および今後の分析ツールやサービスの進化に対応して、特許庁の特許情報提供の方法やサービスの方向を検討するために²、関係者の要望を把握することです。

1：本調査において「特許情報」とは、特許・実用新案・意匠・商標の出願・権利化に伴って生み出される情報（公報情報や経過情報等）および、その他の知的財産権情報を含む情報を指す。

2：特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）や外国特許情報サービス（FOPISER）、特許情報の一括ダウンロードサービス、特許情報取得 API の機能改善の方向を検討予定。

アンケート調査結果は、特許庁における今後の特許情報提供サービスに係る施策等の検討に活用させていただきますので、是非ともご協力をお願いいたします。

● アンケートの回答について

貴社の特許情報分析ツールもしくは分析サービス業務の全体像を概ね把握されている役員もしくはマネージャ層の方によるご回答をお願いいたします。

● アンケートの構成

A. 特許情報データベース、分析ツールもしくは分析サービスの特徴について
(8問)

B. 貴社サービスが重視する特許情報と特許庁の特許情報提供に対する要望について
(8問)

● 所要時間の目安

この調査の回答に要する時間は、15分程度です。

● なお、ここで記載いただいた個人情報について第三者に提供することはありません。

【記入者情報】最初に、以下の事項をご記入ください。

記入者連絡先	
ID 番号(4桁 半角でお書き下さい) ※封筒内資料(依頼状)に掲載の ID 番号を記載 ※必須	
会社名または団体名	
所属部署・役職 ※必須	
郵便番号	
都道府県	
市区町村	
町名番地	
ビル建物名	
氏名 ※必須	
E メールアドレス ※必須	
E メールアドレス(再入力) ※必須	

A. 特許情報データベース、分析ツールもしくは分析サービスの特徴について

A1 最初に、貴社事業の中で IP ランドスケープ（以下、IPL と略記）での使用が想定される特許情報分析ツールの名称もしくは分析サービスの名称*を下記空欄へご記入下さい。（*：本アンケート回答の対象となる貴社の分析ツールもしくはサービスの名称です。）なお、機能の連携がある場合は、複数記述可です。

--

A2 日本国内で IP ランドスケープ（IPL）が注目されるようになったのは、約 5 年前からといわれています。

問 A1 でご回答頂いた貴社の特許情報分析ツールもしくは分析サービスにおいて、IPL 推進の動向を睨んで直近 5 年間で新たに導入もしくは改善、強化した機能はありますか。「有る」場合は、主な機能の概略を簡単に教えてください。

1. 無い
2. 有る （新たに導入もしくは改善・強化した機能の概略を空欄に記述）

--

A3 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは分析サービスに関して、情報セキュリティマネジメント（機密性、可用性、完全性）は、どのような状況でしょうか。

- 1. ISO 27001 (ISMS) 認証取得
- 2. 経済産業省「サイバーセキュリティ経営ガイドライン ver.2.0」に基づき管理
- 3. 関連資格の保有者を有する
(情報セキュリティマネジメント試験、情報処理安全確保支援士等)
- 4. その他（空欄に記述）

A4 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは有償サービス（調査分析・コンサルティング等）は、現在、日本国内でどの程度利用されていますか。
最初に、有償契約の国内企業・団体数（ID 数や ID 数無制限の大口法人契約数ではない）概略を教えてください。

- 1: 50 者未満（企業・団体数）
- 2: 50 者～100 者未満
- 3: 100 者～300 者未満
- 4: 300 者以上

A5 問 A4 の関連質問です。

大口法人契約（ID 数無制限の契約）を結んでいる国内企業・団体数は概略どの程度でしょうか。

- 1: 無い
- 2: 1～20 者未満
- 3: 20～50 者未満
- 4: 50～100 者未満
- 5: 100 者以上

A6 同じく問 A4 の関連質問です。

国内の有償利用者数（ID 数）は、どの程度でしょうか（大口法人契約を除く）。

- 1: 100 未満（ID 数）
- 2: 100～500 未満
- 3: 500～1,000 未満
- 4: 1,000～5,000 未満
- 5: 5,000～10,000 未満
- 6: 10,000 以上
- 7: その他（契約形態が異なる場合等は、空欄に記述してください）

A7 同じく問 A4 の関連質問です。

直近 3 年の日本国内の有償利用者数（企業・団体数）の増減状況を教えてください。

- 1. 利用者数（企業・団体数）は増加傾向
- 2. 利用者数（企業・団体数）に大きな変化はない
- 3. 利用者数（企業・団体数）は減少傾向

A8 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは有償サービス（調査分析・コンサルティング等）の海外展開状況を教えてください（外資系企業は回答選択肢 7～9 だけが対象です）。

海外販売実績ありの場合：

- 1. 海外向けは概ね全体の 10%未満
- 2. 海外向けは全体の 10%～30%未満
- 3. 海外向けは概ね全体の 30%以上

海外販売実績なしの場合：

- 4. 今後も海外展開検討の予定はない
- 5. 今後、海外展開も検討したい
- 6. 現在、海外展開を検討中である

貴社が外資系企業の場合：

- 7. 外資系）日本向け販売実績は概ね世界全体の 5%未満
- 8. 外資系）日本向け販売実績は世界全体の 5%～15%未満
- 9. 外資系）日本向け販売実績は概ね世界全体の 15%以上

B. 貴社サービスが重視する特許情報と特許庁の特許情報提供に対する要望について

B1 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは分析サービスで、主に対象としている国内外の公報は何でしょうか。（複数選択可）

- 1. 特許
- 2. 実用新案
- 3. 意匠
- 4. 商標

B2 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは分析サービスで、現在重視している特許情報データはどのようなものでしょうか。
最初に、書誌情報、公報情報で重視しているデータを教えてください。（複数選択可）

- 1. 出願人
- 2. 現在の権利者
- 3. 出願日（もしくは優先日）
- 4. 発明者（もしくは創作者）
- 5. タイトル（もしくは物品名）
- 6. 要約、請求範囲
- 7. 明細書
- 8. 図面、実施例
- 9. 分類（国際分類：IPC、ロカルノ分類、ニース分類、ウィーン分類等）
- 10. 分類（FI、Fターム、日本意匠分類）
- 11. 分類（CPC）
- 12. その他（空欄に記入）

B3 問 B2 と同じく分析で重視している特許情報データに関する質問です。
経過情報、審査情報で重視している項目は何でしょうか。（複数選択可）

- 1. 海外出願の有無（出願国、登録国）
- 2. 早期審査請求の有無
- 3. 国内出願のリーガルステータス
- 4. 国内出願に関連する海外出願のリーガルステータス
- 5. 引用件数（審査官）
- 6. 引用件数（他者引用）
- 7. 拒絶理由通知回数
- 8. 拒絶理由通知、拒絶査定の内容
- 9. 情報提供の有無
- 10. その他（空欄に記入）

B4 貴社の IPL を睨んだ特許情報分析ツールもしくは分析サービスの質の向上といった観点から、特許庁が現在提供している特許情報提供サービス（J-PlatPat、FOPISE、特許情報の一括ダウンロードサービス、特許情報取得 API 等）に対して何か改善要望はありますか。

最初に、FOPISE に関してお聞きします。特許庁では、FOPISE の今後の運用について検討していますが、今後どのような形態が望ましいと考えられますか。

（補注：FOPISE は、特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」では照会できない新興国を中心とした外国の特許情報が閲覧できる無料の検索・照会サービスです。）

- 1. 現状（FOPISE 単独）で良い
- 2. FOPISE と J-PlatPat の UI を統合して欲しい
- 3. FOPISE と J-PlatPat のデータベースおよび UI を統合して欲しい
（日米欧中韓以外に途上国の文献を一気通貫で検索する必要があるケース等）
- 4. FOPISE を余り使用していないので分からない

B5 問 B4 の継続質問です。特許情報の一括ダウンロードサービスを使用されている方にお聞きします。特許情報の一括ダウンロードサービスに関して、改善や追加要望はありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

例：経営への活用に有用な特許情報（具体的な情報群を記載）のみがセットとなったバルクデータの提供

要望：

B6 同じく問 B4 の継続質問です。特許情報取得 API を使用されている方にお聞きします。特許情報取得 API に関して、改善や追加要望はありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

例：経営への活用に有用な特許情報（具体的な情報群を記載）のみがセットとなったデータの提供

要望：

B7 問 B4 の関連質問です。その他、特許庁の特許情報提供サービス全般に関して改善要望はありますか。

- 1. 現状で概ね満足している
- 2. 改善・追加要望がある

(改善対象が特許、実用新案、意匠、商標の何れかを明記して下欄に要望記入)

要望：

B8 同じく問 B4 の関連質問です。現在の貴社の分析ツールや分析サービスに対して、その利用者から改善要望があるが、特許庁が提供する一次情報が不足しているため実現できないものはありますか。ある場合、改善要望に必要な一次情報もあわせて記入ください。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある

(改善対象が特許、実用新案、意匠、商標の何れかを明記して下欄に要望記入)

要望：

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。